

一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 第44回シンポジウム/第22回超伝導科学技術賞授賞式

主催：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会
後援：文部科学省、科学技術振興機構
協賛：低温工学・超電導学会、日本物理学会、応用物理学会
日時：平成30年4月16日(月)10:00-17:10
会場：タワーホール船堀 小ホール（東京都江戸川区船堀 4-1-1）
<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

参加費・資料代：

区 分	参加費	講演集代
超伝導科学技術研究会会員	無 料	2,000 円
未踏科学技術協会会員	2,000 円	2,000 円
一 般	5,000 円	2,000 円
学 生(要学生証提示)	無 料	2,000 円
協賛学会会員	4,000 円	2,000 円

参加申込：こちらの HP からお申し込み下さい。 <https://www1.sntt.or.jp/fsstSP/>

問 合 先：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 担当：金子
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アマノビル 6 階
TEL: 03-3503-4681 E-Mail: fsst@sntt.or.jp URL: <http://www.sntt.or.jp/~fsst/>

超伝導 2018 ～ 超伝導で根源にせまる ～

【開催主旨】

今回のシンポジウムでは、鉄系超伝導の発見と超伝導機構の解明また、高エネルギー加速器研究用超伝導磁石や重力波検出などの極低温技術に貢献し、我が国の超伝導業界を支えてこられた両氏による基調講演に加えて、午後の部では、「超伝導 2018～超伝導で根源にせまる～」と題し、物質や宇宙の起源の探求、物理定数の決定などフロンティア研究における超伝導の役割を受賞講演を中心として紹介いたします。

皆様には、超伝導の実力や魅力の新たな可能性についてご理解いただき、フロンティア研究のための超伝導のあり方や将来展望について一緒に議論する機会となることを期待しています。本シンポジウムは、超伝導だけでなく、環境、エネルギー、医療、輸送など様々な研究に携わる方々にも、さらには科学技術に関心ある一般の方にとっても非常に有意義なものと思じます。

今回も、企業展示を予定しておりますので奮ってご参加下さい。

プログラム(案)

<座長：熊倉 浩明（物質・材料研究機構）>

10:00-10:10	開会の挨拶	超伝導科学技術研究会会長/青山学院大学	下山 淳一
10:10-11:00	基調講演 「鉄系高温超伝導10周年を迎えて」	東京工業大学	細野 秀雄
11:00-11:50	基調講演 「超伝導技術応用の開発研究」	高エネルギー加速器研究機構	新富 孝和
11:50-12:10	超伝導科学技術賞授賞式		
12:10-13:20	昼食休憩・展示ポスター見学 (70分)		

<座長: 銭谷 勇磁 (パナソニック)>

13:20-14:00 「RI ビームファクトリーで元素の起源にせまる(仮題)」 理化学研究所 奥野 広樹

14:00-14:40 「根源としての素粒子・原子核(仮題)」 高エネルギー加速器研究機構 幅 淳二

14:40-15:20 「超伝導技術を利用した熱力学温度測定技術の開発(仮題)」
産業技術総合研究所 浦野 千春

15:20-15:40 休憩・展示ポスター見学 (20分)

<座長: 日高 睦夫 (産業技術総合研究所)>

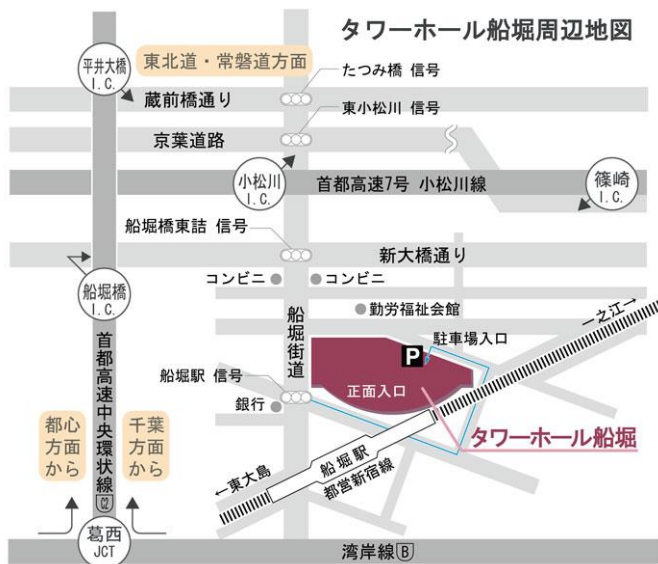
15:40-16:20 「ALMA 望遠鏡の超伝導サブミリ波受信機で見た宇宙」
国立天文台チリ観測所 長谷川 哲夫

16:20-17:00 「極低温ミリ波観測システムで探るビッグバン以前の宇宙」
JAXA宇宙科学研究所 関本 裕太郎

17:00-17:10 閉会の挨拶 未踏科学技術協会理事長 木村 茂行

■ 展示・ポスター 出展企業・法人
株式会社フジクラ

■ 会場交通案内 タワーホール船堀 5階 小ホール



《電車をご利用の場合》

- ・新宿駅より「都営新宿線」にて本八幡方面へ約30分。船堀駅下車、徒歩約1分。
- ・東京駅より「JR 総武快速線」馬喰町駅にて乗換。馬喰横山駅から「都営新宿線」で船堀駅下車、徒歩約1分。